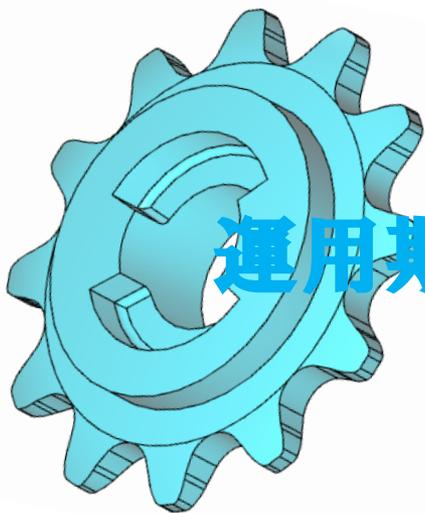




# 環境活動レポート

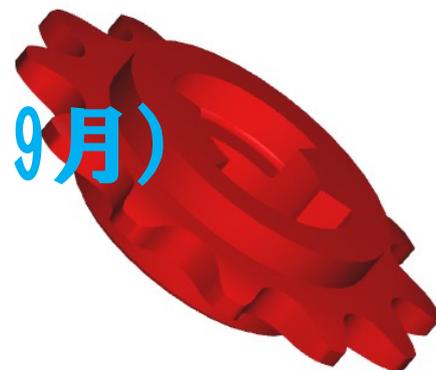
～無限の可能性を秘めた子供達の為に  
今私たちが出来る事～



2017年度

運用期間 (16年10月～17年09月)

発行日 2017.11.25





# 目次

1. 会社概要
2. 環境管理組織
3. 環境方針 基本理念
4. 環境目標
5. 主要な環境活動計画
- 6-1. 環境目標とその実績  
(本社事業部・焼結事業部東京工場)
- 6-2. 環境実績 (焼結事業部 秋田工場)
7. 環境活動の取り組み結果と評価
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直し結果



# 1.会社概要

## (1) 事業所名

睦特殊金属工業株式会社  
本社事業部・焼結事業部東京工場  
(焼結事業部 秋田工場)

## (2) 本社所在地

東京都町田市鶴間6-1-20

## (3) 代表者名

代表取締役社長 池田修二

## (4) 事業内容

焼結機械部品・含油軸受等の製造販売

## (5) 事業の規模

年間売上：4億4600万円(全社：19億5000万円)  
従業員数：49名(全社：257名)

## (6) 環境管理責任者

連絡先 TEL:042-795-0031  
FAX:042-796-1827

## メールアドレス：

y-yamane@mutsumi-t.co.jp

## (7) 認証登録範囲

全組織・全活動を対象

# 1.沿革



1963年（昭和38年）

東京都町田市に粉末焼結合金の生産工場として町田工場設立。

1976年（昭和51年）

睦合成工業株式会社より、粉末冶金事業部（町田工場）を分離、独立。睦特殊金属工業株式会社として発足。

1981年（昭和56年）

受注増大に伴い大型プレス及び検査器具等の設備拡大を図る。1992年（平成4年）香港に睦香港有限公司を設立。

1994年（平成6年）

中国浙江省寧波市に粉末焼結合金の生産工場として日中合資会社寧波東睦粉末冶金有限公司設立。

1999年（平成11年）  
2004年（平成16年）

小山星児前代表取締役社長、中国浙江省寧波市榮譽市民の称号受賞。

寧波東睦粉末冶金有限公司より、寧波東睦新材料株式会社と社名を改め株式会社化。

取得。  
ISO9001:2000認証

睦（天津）粉末冶金有限公司設立。  
中国天津市に日中合資会社東睦（天津）粉末冶金有限公司設立。

上海寧波東睦新材料株式有限公司、寧波東睦株式市場に日系企業初の工場。

睦特殊金属工業株式会社として、睦合成が部式会社と統合

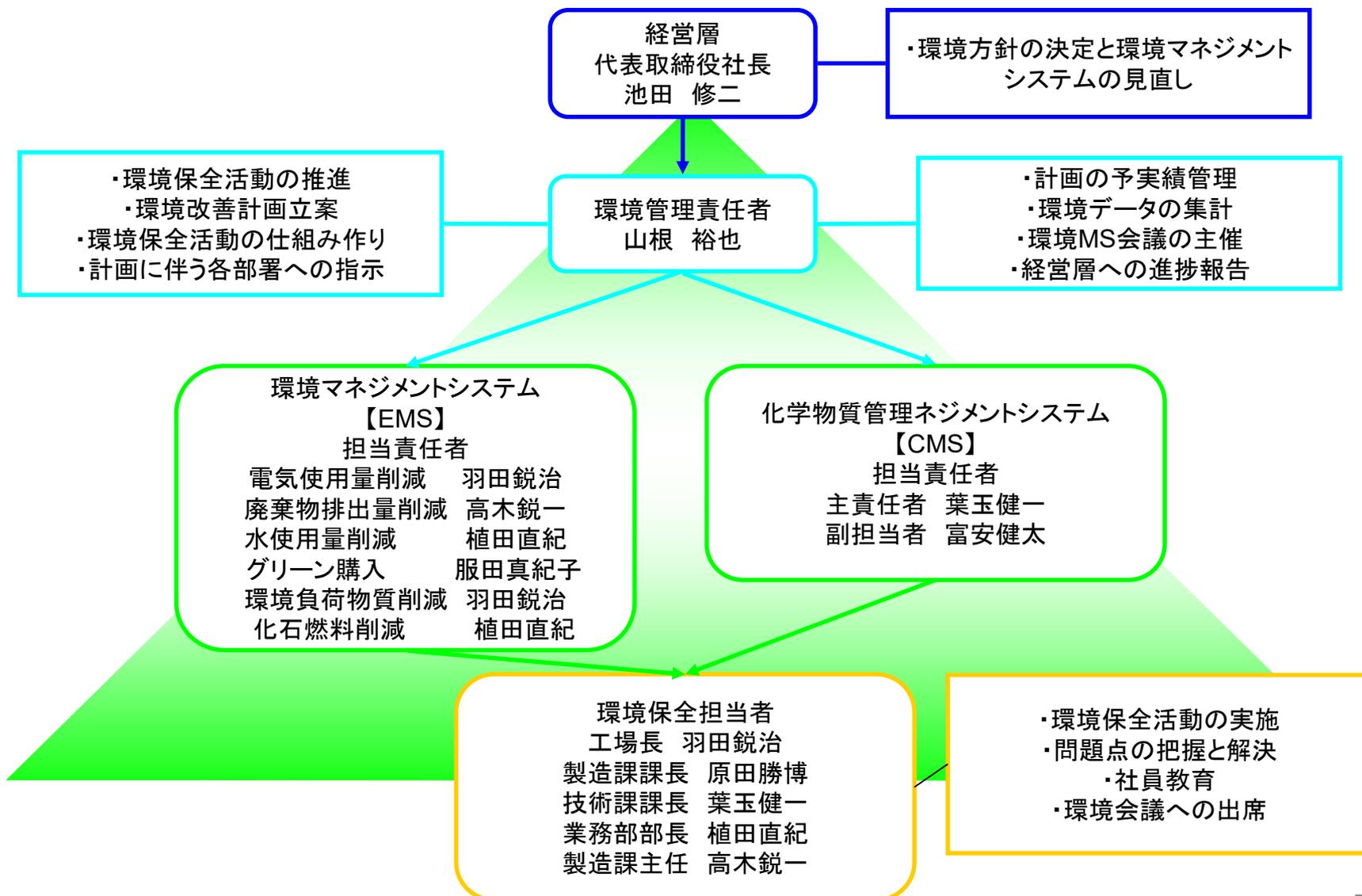
秋田横手市に焼結秋田工場を設立

二友特金と合併  
睦特殊山形工場として設立



## 2.環境管理組織

2016年11月25日 改訂





## 基本理念

# 3.環境方針

## 行動指針

私たちは、粉末冶金製品の生産を中心にした事業活動において、環境に配慮した生産活動を推進する事により、社会に貢献する事を目指します。そして、環境保全への取り組みを経営の重要な柱の一つとして捉え、社会の調和ある発展に貢献出来るように、不断の努力を行います。

1. 環境及び有害化学物質に関わるあらゆる法則制、ユーザー及びその他の要求事項を遵守する。
2. 事業活動の全ての分野で、省エネルギー・省資源及び廃棄物発生量の低減に努め、且つそれらのリサイクル化を推進する。
3. 事業活動において、製品（購入品含む）・原材料及び副資材の有害化学物質を的確に把握し、それらの保管・使用・廃棄等を適切に行い、且つそれらの使用量の削減、安全性の高い物質への切替えに努める。
4. 事業活動において、環境汚染の予防に努める。
5. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的及び環境目標を設定し、継続的な改善に努める。
6. 環境教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、自ら責任を持って環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行う。

2012年10月1日  
池田 修二

# 2017年度環境目標



生産電気使用量削減  
4%削減  
(売上比)  
2242kWh以下/百万円  
《CO2排出量》



電気使用量削減  
15%削減  
(2008年比)  
1,079,701kWh以下/年  
※2008年基準値  
1,420,000kWh



廃棄物排出量削減  
64%削減  
(2009年比)  
1.69ton以下  
2009年基準値: 4.72t



水使用量削減  
25%削減  
(2008年比)  
764m<sup>3</sup>以下  
2008年基準値: 1019m<sup>3</sup>

## 環境目標(中期目標)

|        | 生産電気削減 | 電気使用量削減 | 廃棄物排出削減 | 水道使用量削減 |
|--------|--------|---------|---------|---------|
| 2018年度 | 4%削減   | 15%削減   | 64%削減   | 26%削減   |
| 2019年度 | 4%削減   | 15%削減   | 65%削減   | 27%削減   |



# 5. 主な環境活動計画

## 2016年10月～2017年9月末

### 生産電気使用量

責任者 羽田鋭治

- ・ ①生産設備の効率稼働(生産向上)
- ・ ②省エネ機械・設備の導入及び省エネ方策
- ・ ③照明、空調設備の省エネ方策
- ・ ④不要時の消灯運動(就業時、休憩、就業後の消灯徹底)
- ・ ⑤空調温度の適正管理(暑すぎ、寒すぎ温度排除)
- ・ ⑥業務改善(効率化)による残業時間の減少

・ 監視測定 月／1回

### 廃棄物排出量

責任者 高木鋭一

- ・ ①分別回収の細分化⇒リサイクル切替
- ・ ②廃棄鉄粉の削除⇒こぼれ粉など
- ・ ③ダンボール箱⇒
- ・ キャディ、マテハンの利用、包装資材の再利用
- ・ ④紙の使用量削減
- ・ (電子文書化、使用済コピー紙の裏面使用など)
- ・ ⑤エコ商品の購入(事務用品)

・ 監視測定 1Q／1回

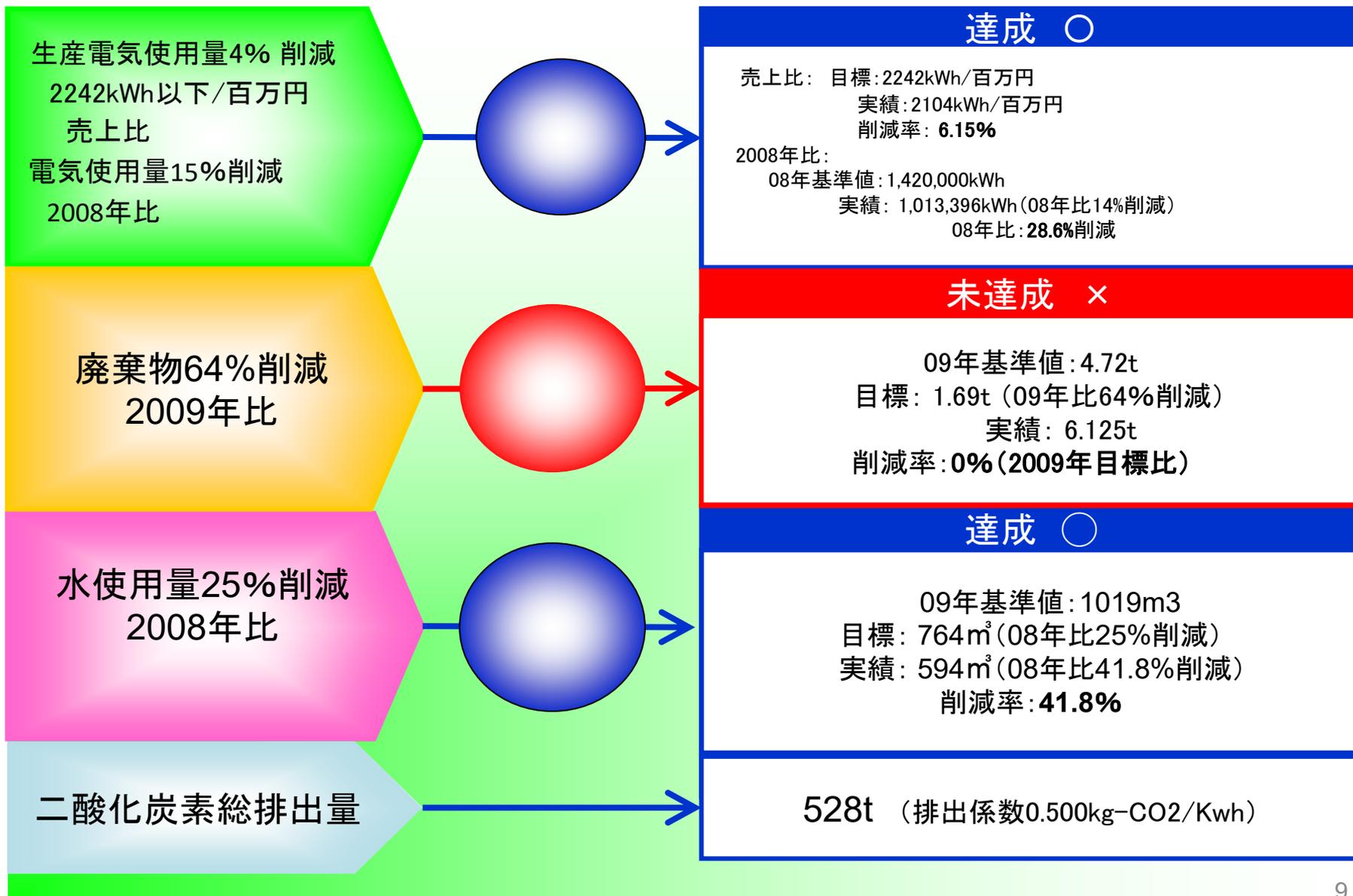
### 水使用量

責任者 植田直紀

- ・ ①節水の表示、水の出しっぱなしの禁止
- ・ ②水の調整等⇒10%節水
- ・ ③定期的に指針チェック⇒水の使用量の把握

・ 監視測定 2ヵ月／1回

# 6-1.環境目標とその実績





## 6-2.環境実績(焼結事業部 秋田工場) 2016.10~2017.9

- 電気使用量: 755,860kWh
- 産業廃棄物排出量: 1.7t
- 水使用量: 466m<sup>3</sup>
- 二酸化炭素排出量: 450t  
(排出係数0.566kg-CO<sub>2</sub>/Kwh)

※2016年10月からの実績  
2017年4月から本格稼働

## 7. 環境活動の取り組み結果と評価

評価基準: ◎:120%以上達成率

○:概ね100%以上達成率

△:75%~100%未満の達成率

×:75未満の達成率

| 環境目標                | 活動項目   | 取り組み結果の評価   | 次年度取り組み                     |
|---------------------|--|---|-----------------------------|
| 【生産電気使用量削減】<br>4%削減 | 省エネ設備導入<br>不要時の消灯・電源OFF<br>空調温度適正管理<br>生産効率          | 評価:◎<br>省エネ設備:ST炉入れ替えを行った。<br>生産効率は、秋田工場への移管時に生産効率が悪化したが、下半期は生産効率が戻りつつある。 | ・事務所棟のLED化                  |
| 廃棄物排出量削減<br>64%削減   | 分別基準の説明<br>分別回収の徹底<br>リサイクル化の推進<br>紙使用量削減<br>エコ商品の購入 | 評価:×<br>活動項目に関しての実施は良好ですが、購入品(中国品)の包装資材や<br>設備入れ替えによる廃棄物増。                | ・購入品資材の再利用化<br>・エコ商品の購入     |
| 水使用量削減<br>25%削減     | 節水への呼びかけ<br>節水蛇口等の取り付け<br>漏水防止                       | 評価:◎<br>節水の教育効果・漏水監視効果あり。   | ・継続的な監視(節水・漏水)              |
| グリーン購入促進            | グリーン購入調査   | 評価:△<br>グリーン購入調査範囲を拡大する必要あり。  | ・エコマークの周知<br>・継続的なグリーン購入品調査 |
| 化石燃料削減              | 燃費向上運転教育   | 評価:△<br>エコドライブの教育を行ったが、<br>実施状況の監視等ができていない。                               | ・エコドライブ教育<br>・エコドライブ監視      |



## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社における過去5年間の法規違反又は  
起訴などは一切ございませんでした。

# 9. 代表者による全体の評価と見直しの記録

(適切性、妥当性、有効性の確認)

社長承認 池田修二

開催期日:2017年11月25日14時~15時

出席者:原田、葉玉、山根 羽田、

記録:山根裕也 作成日11月25日

| 環境管理責任者の報告  | 環境管理責任者の提案   | 社長の指示  |
|---|--|--|
| <p><b>【取組状況の評価結果】</b></p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況<br/>定期評価を実施した結果遵守されている</p> <p>②是正及び予防処置の状況<br/>環境教育実施・廃棄物分別・削減実施・省エネ設備導入・導入検討</p> | <p><b>【是正及び予防処置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員の意識向上による提案改善提案表彰</li> <li>・省エネ設備導入の推進</li> <li>・環境活動の見える化(掲示板やデマンド管理)</li> </ul> | <p>生産効率を進めて電気は引き続き目標を達成する事<br/>水は継続的な改善を監視する</p> <p>廃棄物に関しては5sを来年早々に実施して長期的に目標を達成できるように進める事</p>              |
| <p><b>【目標・環境活動計画の達成状況】</b></p> <p>省エネルギー ○</p> <p>水使用削減 ○</p> <p>廃棄物の削減 ×</p>   | <p><b>【目標・環境活動計画の達成状況】</b></p> <p>水使用量は、安定して目標達成。<br/>廃棄物は、5sによる目標未達成<br/>省エネルギーは、達成となっている</p>   | <p><b>【目標・環境活動計画の達成状況】</b></p> <p>廃棄物目標の緩和継続<br/>新工場設立の関係から設備移管や生産形態変更による整理整頓を引き続き続ける。</p>                   |
| <p><b>【周囲の変化状況】</b></p> <p>事業者は製品・サービスを含む全ての事業活動の中に、省エネルギー、省資源、廃棄物削減率の取組を行う事が求められています。</p>                                    | <p><b>【その他の環境経営システムの各要素】</b></p> <p>エコアクション21を活かし成果向上に努める</p>  | <p><b>【環境経営システム各要素】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理担当で年間環境教育計画をたて環境を教育を実施する。</li> </ul> |

## 社長の総合コメント:

省エネ設備などの省電力がうまく機能してきているので、今後継続的に行う。5s活動による廃棄物が目標未達成になりましたが、長期計画において目標を達成できるようにする事。

秋田工場は、2018年度拡大審査を予定。2017年10月~2018年9月期は今年度実績から環境目標設置し活動する事。<sup>3</sup>